

## 第1章 計画策定の趣旨

### 計画策定の趣旨

- \* 奈良県では、県民一人ひとりが健康づくりに取り組み、健康でいきいきと暮らすことができる健康長寿の奈良県を目指しており、そのためには運動・スポーツの果たす役割が非常に重要と考えます。
- \* 平成17年に、スポーツ振興法に基づく「奈良県スポーツ振興計画」を策定し、平成21年には、これに健康づくりのための「運動」の視点を加えた「なら運動・スポーツ振興プラン」として改訂を行い、市町村及びスポーツ関係団体等と連携を図りながら、運動・スポーツの振興に努めてきました。
- \* このたび、運動・スポーツの推進に、県民全体で取り組むための指針として、これまでの振興プランからさらなる一歩を踏み出す新たな「奈良県スポーツ推進計画」（以下「本計画」といいます。）を策定します。

#### 【運動・スポーツの役割】

- \* 運動・スポーツは、「する・観る・支える」ことを通じて、感動や楽しみ、達成感や協調性の創出など、県民一人ひとりに様々なプラス効果をもたらします。
- \* 運動・スポーツは、フェアプレイの精神など人格の形成、生きがいづくりなど、心身両面にわたり健康の保持増進につながり、医療費削減の効果も期待されます。
- \* 全国や世界で活躍するトップアスリートの姿は、県民に大きな夢や感動、元気、勇気を与えてくれます。
- \* 地域の特性を活かした運動・スポーツの推進は、交流人口の増加のほか、関連する産業の振興にも寄与し、地域の活性化や地域の連帯感の強化にもつながります。

### 計画の位置づけ

- \* スポーツ基本法及び国の「スポーツ基本計画」の趣旨及び方向性を踏まえ、本県の実情に合わせて策定します。
- \* 奈良の未来を創る「5つの構想案」の中の「(仮称) 健やかに生きる構想」に示されたスポーツの振興を具体化する計画とします。
- \* 10年後における県民の健康長寿の日本一達成を目指そうとする、「(仮称) なら健康長寿総合計画」の関連計画としても位置付けられており、当計画と整合性を図りながら、県民の運動・スポーツ推進のために取り組む内容を明らかにしています。
- \* 地域の次代を担う子どものために地域教育力の向上を目指す「奈良県地域教育力サミット」での協議内容とも整合性を図ります。

### 計画期間

目標年度を平成34年度とし、社会情勢や県の取り組み状況などを踏まえ、5年後に見直しを行います。

### 計画の推進体制

- \* 県と市町村、民間等の連携を強化するため、新たに「(仮称) 県・市町村スポーツ推進協議会」の設置やスポーツコミッションなど民間レベルによる推進体制の構築検討を進めることにより、県全体でスポーツの推進に取り組みます。
- \* 計画(Plan)→実行(Do)→評価(Check)→見直し(Action)というマネジメントサイクルを踏まえ、奈良県スポーツ推進審議会において、本計画の進捗状況を確認しながら、その結果を具体的な取組みに反映させます。
- \* 施策の実現に向けて、運動・スポーツ実施状況等を把握、評価・分析し、事業等の見直しを行いながら、本計画を効果的に推進します。

## 第2章 計画の理念と目標

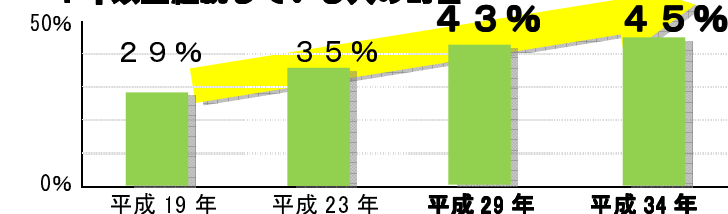
本計画は、奈良県民が気軽に運動・スポーツに取り組むためのマスタープランとして、奈良県全体での運動・スポーツの推進に取り組み、「生き活きと安心して健やかに暮らせる 健康長寿の奈良県」の実現を目指します。

<目指す姿>  
**生き活きと安心して健やかに暮らせる  
 健康長寿の奈良県**

- I. だれもがいつでも楽しめるスポーツ
- II. 地域で楽しむスポーツ
- III. あこがれ・感動を生むスポーツ
- IV. スポーツ環境の整備

### 基本目標を実現するための指標

**1日30分以上の運動・スポーツを週2回以上実施し、1年以上継続している人の割合**



※平成19年、平成23年については、「県民健康栄養調査」によるもの。  
 ※平成25年以降は、本計画に基づく「運動・スポーツ実施状況調査」を実施予定。

## 第3章 施策の体系と内容

### I だれもがいつでも楽しめるスポーツ

健康長寿の礎となる健康・体力の維持・増進と、スポーツを通じて人格形成や青少年の健全育成を図るため、障害があるかないかに関わらず、すべての人が運動・スポーツをしたい時に、どこでも、気軽に楽しむことができる環境づくりなどを推進します。

#### 【指標と目標数値】

指標	現状 (H24)	10年後 (H34)
総合型地域スポーツクラブの会員数	10,355人	70,000人
総合型地域スポーツクラブ数	55ヶ所 (36市町村)	150ヶ所
スポーツ指導者 (日体協公認)	2,751人	4,000人
全国体力・運動能力、運動習慣等調査	小学校:男45位、女45位 中学校:男43位、女42位	—

#### 【基本施策】

- 1 総合型地域スポーツクラブによる基盤づくり
- 2 ライフステージに応じた運動・スポーツの推進
- 3 障害者の運動・スポーツの推進
- 4 スポーツを支える環境づくり

### II 地域で楽しむスポーツ

明るく豊かで活力に満ちた地域社会の実現に向けて、スポーツイベントの一層の活性化をはじめ、奈良県の豊かな地域資源を活かした地域で楽しむスポーツを推進します。

#### 【指標と目標数値】

指標	現状 (H24)	10年後 (H34)
スポーツイベントの参加者数 (総合型交流大会) (人)	1,149人	10,000人
「奈良マラソン (フルマラソン)」に参加する奈良県民の人数 (人)	3,868人	5,000人

#### 【基本施策】

- 1 参加型スポーツイベントの実施
- 2 スポーツツーリズムの推進
- 3 スポーツを支える新たな基盤整備

十津川村小辺路でのトレイルランの様子



### III あこがれ・感動を生むスポーツ

県内外で活躍できるスポーツ選手を育成する体制の整備を進め、競技力の向上を図るとともに、スポーツの裾野を広げるために、人びとにあこがれと感動を与えるプロスポーツなどの観戦の機会づくり取り組みます。

#### 【指標と目標数値】

指標	現状 (H24)	10年後 (H34)
国体の総合成績	35位	20位台
プロスポーツ等の試合数 (有料観戦)	5試合	60試合

#### 【基本施策】

- 1 競技力の向上
- 2 トップアスリート等との連携によるスポーツの推進
- 3 プロスポーツなどの観戦の機会づくり

ロンドンオリンピック (2012) ボクシング金メダリスト村田選手



### IV スポーツ環境の整備

だれもがいつでも運動・スポーツに親しめるよう、既存施設の有効活用と機能充実の検討を進めるとともに、身近な公共施設等を有効に活用するための環境整備などを進めます。

#### 【基本施策】

- 1 身近な公共施設等の活用
- 2 既存スポーツ施設の活用方法の検討
- 3 新たなスポーツ施設の研究



橿原公園ジョウガーステーションイメージ図